

Press Release

令和 6（2024）年 10 月 16 日

育児中の女性消防士が、子どもを主役にしたフェスティバルを企画・立案

消防フェスティバル（体験型）を開催します

海南市消防本部（海南市日方 1294-13 消防長：山田量也）は、地域住民の防火・防災への関心を高め、消防業務および消防活動について理解を深めてもらうことを目的として、消防フェスティバルを開催します。今回のフェスティバルは、消防本部に所属する子育て中の女性消防士が企画・立案したもので、子どもたちが体験を通して消防について学ぶことができる内容となっています。

開催概要

日時：10 月 20 日(日) 10 時 00 分～15 時 00 分（荒天中止）

場所：海南保健福祉センター南側空き地（旧ショッピングタウンココ跡地）

駐車場：海南保健福祉センター駐車場（旧市民会館跡地）

＜臨時＞日方小学校運動場



▲ロープ渡過の様子

3 人の子育てをする女性消防士が、子どもを主役にしたフェスティバルを企画・立案

＜海南市消防本部 消防司令補 濱 輝香＞ 昨年まで、消防フェスティバルは他のおまつりなどのイベントにブースを出す形で実施していましたが、今年から単独開催することになり、私がその企画・立案を担当しました。私自身、3 人の子をもつ親で、子どもたちが楽しみながら消防について学べる機会があればいいと、以前から思っており、このフェスティバルでの体験を通して、消防に関する学習はもちろん、「消防士ってやっぱりカッコいいんだよ」ということも、たくさんの子どもたちに知ってもらえたらと願っています。

体験メニュー

- ◆レスキュー体験（小学生以下）：子ども用救助服を着用（希望者のみ）し、ロープ渡過体験及び記念撮影ができます。
- ◆消火体験：防火衣や空気呼吸器を装着し、水消火器による初期消火体験と、消火ホースを伸ばす体験ができます。
- ◆煙ハウス体験：室内で火災に巻き込まれた場合を想定し、煙（スモークマシン使用）が充満するテントから脱出する方法を体験できます。
- ◆地震体験：地震の揺れを体験し、家具の固定など、事前にできる防災について学べます。
- ◆緊急消防援助隊の宿营地体験：市外や県外で災害が起きた時に出動する、緊急消防援助隊が宿泊するエアテントや簡易別荘などが展示され、消防士が被災地でどのような活動をしているかを学べます。
- ◆隊員になりきって写真撮影：救急隊員と救助隊が実際に着用する制服と同じ布地を使った、本格的な子ども用の制服を用意しました。サイズは 110cm と 130cm、大人用（M・L）の 4 種類で、自由に着用し、撮影できます。
- ◆消防車両展示：石油コンビナートがある市町村にしか配備されない大型化学高所放水車のほか、大型はしご車、ポンプ車、救急車などを展示し、カッコいい緊急車両を間近で見ることができます。

本件に関するメディアからの問い合わせ先

海南市消防本部 警防課（担当：濱）

〒642-0002

和歌山県海南市日方 1294-13

TEL：073-483-8713

リリース配信元

海南市総務部シティプロモーション課

〒642-8501 和歌山県海南市南赤坂 11

TEL：073-483-8408 FAX：073-482-0099

E-mail: cp@city.kainan.lg.jp